



BOSS

災害対応の意思決定を支援
災害対応工程管理システム

ER VdlV | vwhp Exvlghv#R_shudwrg#V_xssru#V | vwhp

災害対応の現状

- 災害対応の全体像が分からない。
- 地域防災計画のどこに何が記載されているのか分からない。
- 膨大なマニュアル、様式が各課に分散し、必要なものが直ぐに見つけ出せない。
- 人員配置が不適切であり、人員管理ができない。受援計画を策定できない。
- BCPを策定する際に、災害対応業務が整理できていない。



災害対応業務の全体工程を48種類、500工程に標準化
BOSSは、標準工程をシステム化したものでノウハウの集積装置

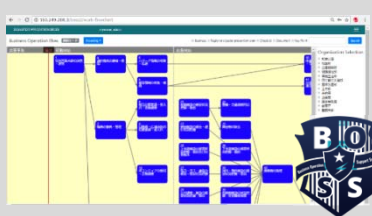
災害対応の標準化

災害対応業務に関する研究成果により、災害対応を48種類、500工程に定義。



システム化

48種、500工程を中心に、地域防災計画や300種類以上の標準ドキュメントをデータベース化。



トレーニング

知識・行動・計画立案まで体系的に研修し、都道府県と市町村など関係者を同時に訓練。



BOSSの特徴・機能

災害対応の全体像の見える化

- ・災害対応工程をフロー図化することで全体を容易に把握。
- ・個別業務フローは自由に編集可能。

地域防災計画を簡単に参照

- ・業務詳細シートに地域防災計画の該当箇所を表示し、計画の記載内容を速やかに把握。

発災モードで災害時にも活用

- ・発災モードで災害時の進捗を管理可能。
- ・災害対策本部で業務全体の進捗管理。

業務内容を迅速に把握

- ・業務詳細シートを使って実施方法（誰が、いつ、何を、どのように）を容易に把握。
- ・各課に分散している、マニュアルやガイドライン、過去の課題・教訓等を共有可能に。
- ・防災担当者が代わっても要点を引き継ぎ可能。

漏れのない災害対応

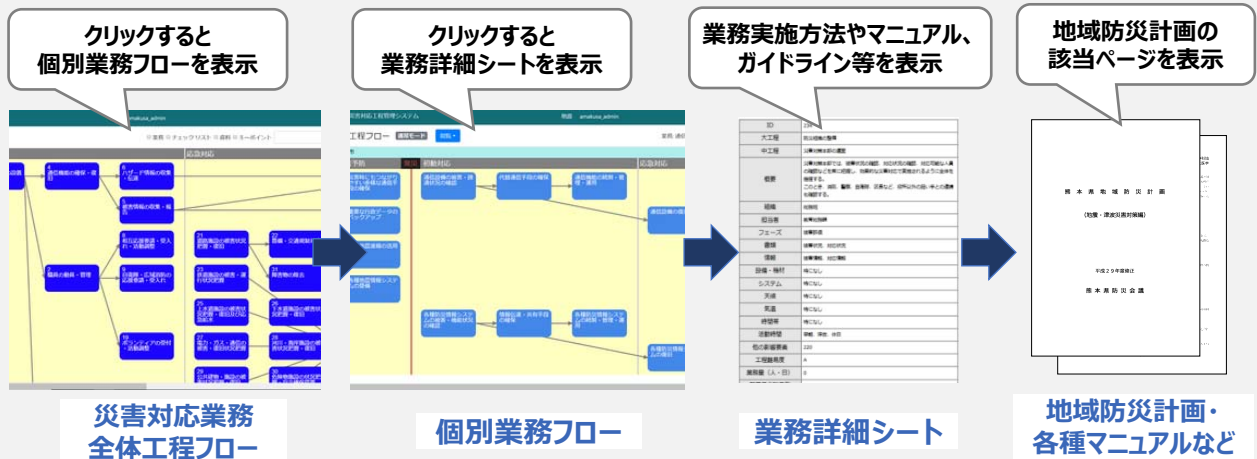
- ・フロー図に関連づけられたチェックリストで、抜け・漏れのない災害対応が可能。
- ・チェックリストにより自治体間の災害対応状況を共有。

実効的なトレーニング

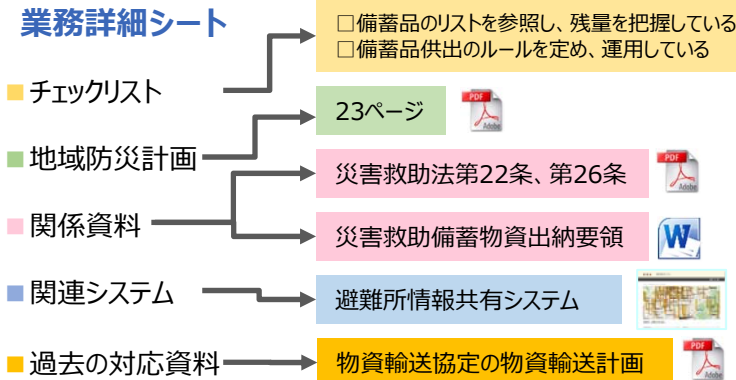
- ・職員研修で災害対応業務の全体を学び、コンテンツをアップデート・共有。研修のPDCAが可能に。

BOSSの画面遷移

災害対応の**全体像**と**業務内容**を迅速に把握！



ノウハウの一元管理



県と市町村の連携



導入実績



導入費用

組織	初期費用 (円)	年間利用料 (円)
都道府県	350,000	780,000
県庁所在地 政令指定都市	300,000	480,000
市	250,000	420,000
町村	200,000	300,000
導入サポート費用	1,500,000~	

DMTC*

東京大学の災害対策
トレーニングセンターDMTCでも活用



全国知事会の
優秀政策を受賞

- 「初期費用」にはアカウントの作成、部署の設定などシステム利用の初期設定が含まれます。
- 「導入サポート」には、業務フローのカスタマイズ・地域防災計画との対応付け、資料の登録、BOSSの導入に係る各種防災計画の構造化等のコンサルティングも含まれます (詳細は、応相談)
- 研修やトレーニングは別途ご相談ください。

まずは**デモ版**でシステムをご利用ください。ご用命は以下まで！

東京大学生産技術研究所 沼田宗純 准教授 numa@iis.u-tokyo.ac.jp 03-5452-6445
 株式会社ユータイズ hiro@uties.co.jp 03-6262-8696 担当：末吉 広忠
 株式会社 イイト日本技術開発 inoue-ma@ej-hds.co.jp 03-5341-5146 担当：井上 雅志